

生体弁置換術後心房細動患者の抗血栓療法に関するレジストリー (前向き観察研究) , BPV-AF Registry

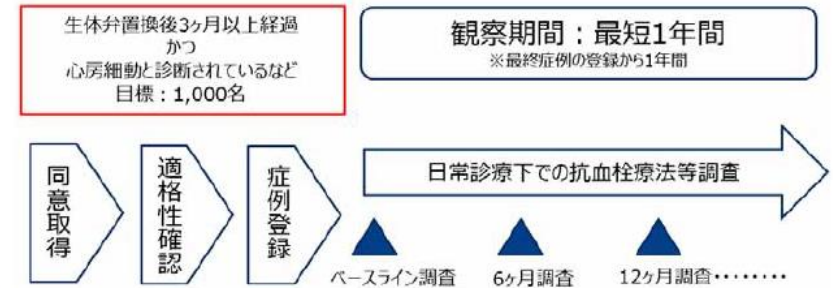
国立循環器病研究センター、第一三共株式会社の共同臨床研究 研究期間：2018年9月～（患者登録：2019年10月31日終了）

<研究背景>

- ・ 高齢化に伴い、心房細動（AF）患者数は増加しており、今後も増加することが想定されている。
- ・ また、わが国における弁膜症手術件数は年々増加しており、2016年においては弁置換術の半数以上は生体弁（BPV）置換術といわれている。
- ・ 上記より、生体弁置換術を受けたAF患者（BPV-AF）数は今後も増加することが想定される。
- ・ BPV-AF患者に対する最適な抗凝固療法は明らかになっておらず、治療ガイドラインにおいてもエビデンスが不十分といわれている。

**本研究では日本国内のBPV-AF患者を対象に
抗血栓療法の実態とイベント発現状況、
及びその関連性を前向きに調査する。**

<研究デザイン>



本研究により、日本のreal-worldにおけるBPV-AF患者の抗血栓療法の実態及びその問題点が明らかになることで、本対象患者における今後の治療法の提案に貢献することができるものと考えている。

<引用> UMIN 000034485,
Yutaka F, Izumi C, et al . Cardiovasc Drugs Ther (2020)
34:689–696

本研究に先行して、BPV-AF Registry後向き研究も共同研究として実施し、2020年に論文化いたしました。

Izumi C, Miyake M, Amano M, et al.
J Cardiol 76 (2020) 44–50